

令和元年12月23日

ミャンマーにおける核黄疸撲滅プロジェクト：日本製経皮黄疸計寄附記念式典

(The donation ceremony of the Jaundice Meter (JM-105: KONICA MINOLTA, INC.)
for effective management of neonatal hyperbilirubinemia in Myanmar)

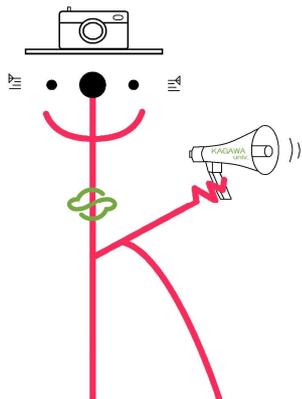
を開催します

平成 29 年より本学医学部小児科学講座 日下隆教授を中心に、厚生労働省が国立国際医療研究センターを実施主体として委託している医療技術等国際展開推進事業においてミャンマーにおける核黄疸撲滅プロジェクトを行なっております。

日本製経皮黄疸計を使用し、低侵襲で早期発見治療を行う日本式の重症新生児黄疸スクリーニングプロジェクトとして香川大学医学部小児科医師が専門家として派遣されました。ミャンマー国内で最大の出生数のある Central Women Hospital を中心に計画実行され、過去 3 年間の実績において重症黄疸に対して交換輸血回数が激減するなど、現地での実行性、評価も高く、ミャンマー小児科学会からも本事業のミャンマー全土への展開、継続を強く望まれています。この度、その重要性をご理解頂いたコニカミノルタ株式会社様より経皮黄疸計(JM-105) 11 台をミャンマー小児科学会にご寄附いただくこととなり、ヤンゴン (ミャンマー) において記念式典が開催されることになりました。

記念式典当日は現地からはミャンマー保健省、前大臣の Pe Thet Khin 教授をはじめ、ミャンマー小児科学会の主要メンバーとヤンゴン市内で分娩を行う全ての公立病院の関係者など、日本側からは香川大学医学部小児科学講座 日下隆教授ほかコニカミノルタ株式会社関係者など多数出席され、現地メディアの取材も予定されております。

- 1、日時 令和元年 12 月 27 日 (金) 午前 10 時より (現地時間)
- 2、場所 Yangon Children Hospital (Yangon, Myanmar)
- 3、参加団体 コニカミノルタ株式会社、ミャンマー小児科学会、香川大学医学部
- 4、寄附物品 経皮黄疸計(JM-105) 11 台



➤ 問い合わせ先

香川大学 医学部附属病院

総合周産期母子医療センター 講師 安田真之

TEL : 087-891-2171 FAX : 087-891-2172

E-mail : syounika@med.kagawa-u.ac.jp

Donation Ceremony of Transcutaneous Bilirubinometer to Myanmar Pediatric Society from Konica Minolta

Date and Time – 10:00 AM – 12:00 (27/12/2019)

Venue – Top floor, New Building, Yangon Children Hospital

Agenda

1. Opening Speech Prof Pe Thet Khin
2. Introductory Speech Prof Takashi Kusaka
3. Explaining the Project Dr Saneyuki Yasuda
4. Reason for Donation & donation of TcB meter Konica Minolta
5. Certificate award and words of thanks MPS
6. Closing
7. Refreshment

Next session

Training of TcB nomogram to 6 hospitals

NOGTH, IGH, Sanpya GH, SOGH, WYGH, EYGH